

震性を向上させる新たな補修材を民間企業と共同で開発した。補修材は既存の水道管にステンレス製のカバーで覆って設置する仕組みで、断水をせずに施工できる上、漏水の防止や耐震性の改善が見込まれている。

同市は大成機工（大阪市）と日本ニューロン（京都府精華町）の2社による開発過程において、水道橋崩落の調査結果の提供などで協力してきた。

和歌山市では今回の経
験を生かし、水道管の耐

23年11月から市内の水道管で実証実験を行っており、1年ほどかけてデータを取得する予定だ。今後は市内外の水道管への実装を視野に入れる。